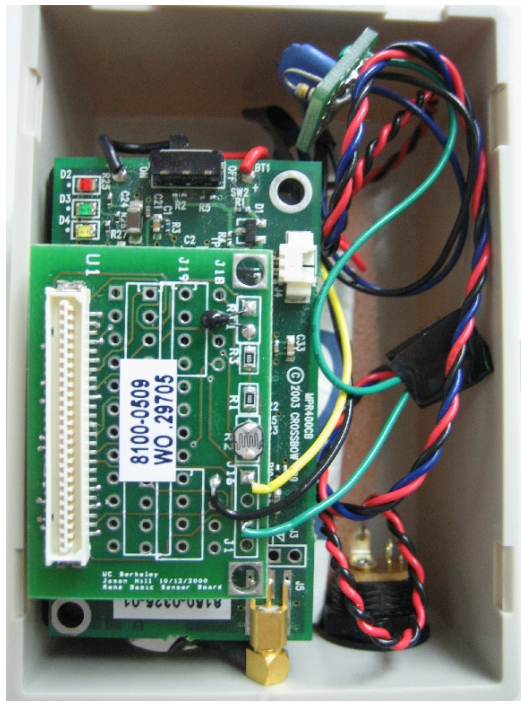


会議室は予約されていても実際には使われないという状況がよく起こります。
そこで、人感センサ(赤外線センサ)を接続したMoteを会議室群に展開して、実際の使用状況をモニタリングするシステムを構築しました。

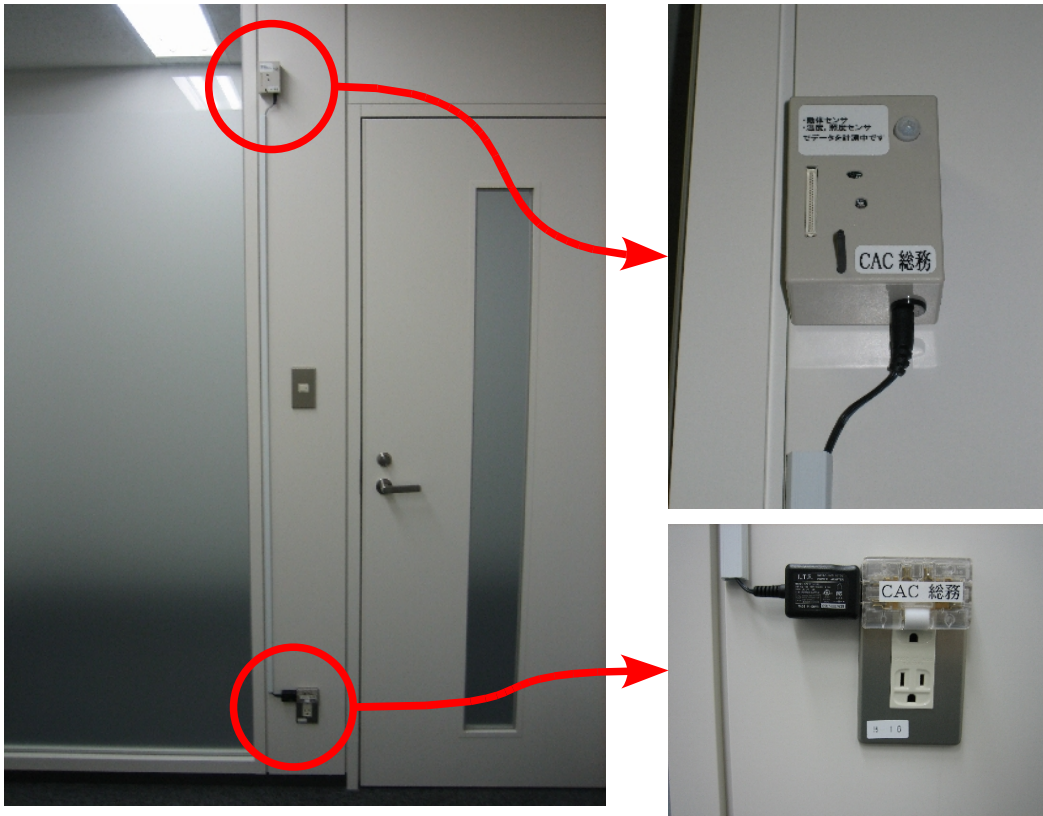


センサノード
(MICAz+汎用センサ基盤)



会議室フロア内8会議室にノードを展開

会議室の壁の色に合わせたケースを自作し、中にMICAzを収納しています。
今回は電池駆動ではなくAC電源を利用しています。



会議室内のノード



青い円内が人感センサ
(松下電工製 NaPiOn)

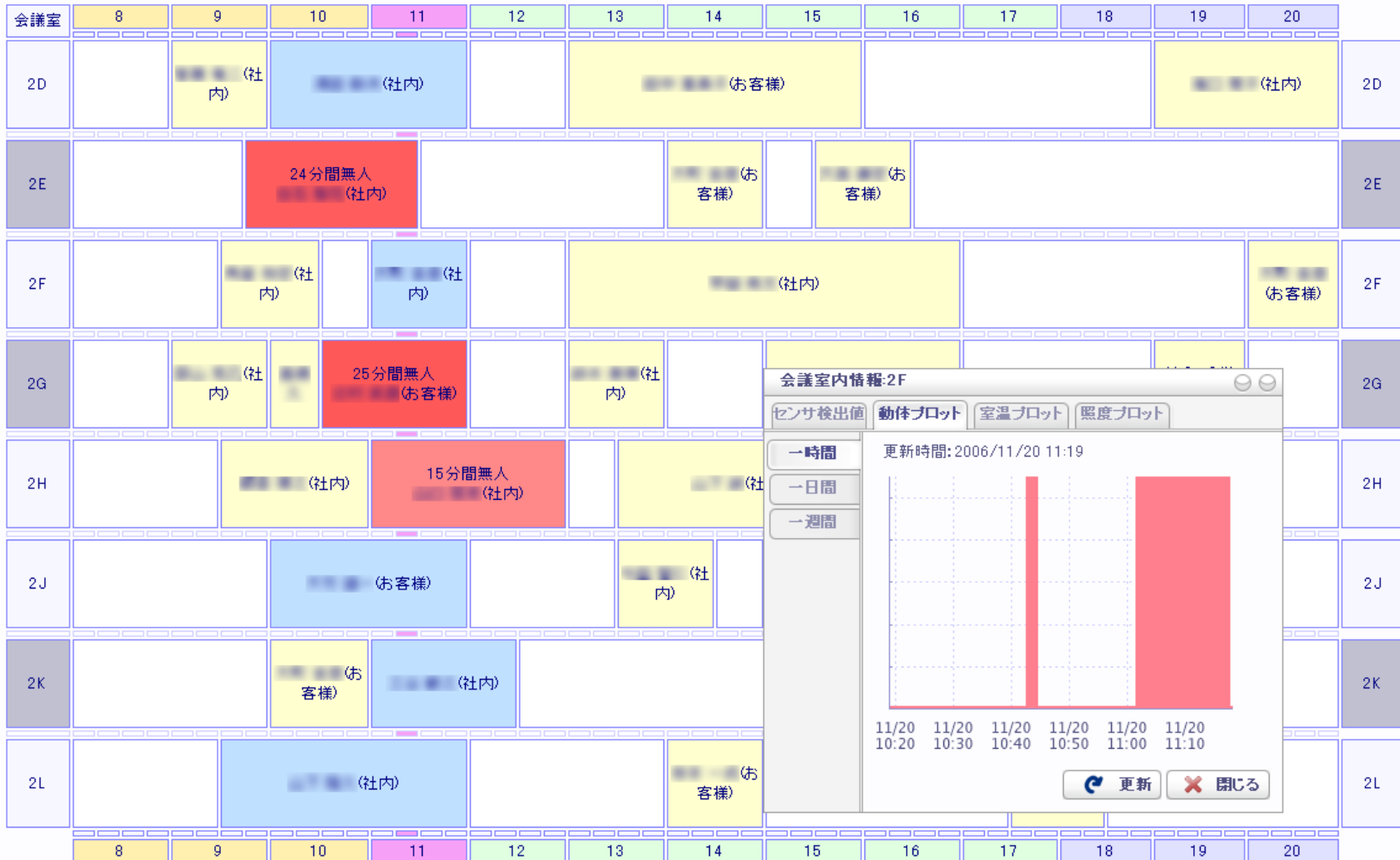
会議室の使用状況と予約状況を融合して表示するアプリケーションを開発しました。
このシステムを導入したことで無駄な予約が減り、会議室がより有効に利用されるようになりました。

[このページについてはこちらを参照 help](#)

更新

2006年11月20日(月) 11時20分

データ更新時間: 2006年11月20日(月) 11時15分



copyright © 株式会社シーエーシー 技術研究部



Powered by **AJAX** and **TinyOS** technology
Asynchronous Javascript And XML

左右に配置されたボタンの色で、会議室内の照明の状況もわかります。



会議室フロアに設置したタッチパネル端末により、
予約の確認や解除が行えます。

本件に関するお問い合わせは
株式会社カティエント技術研究部
佐々木(tsasaki@catient.com)
までお願いします。